

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●フィリアプーラ、ヨカヨカの競走馬登録抹消

2019年フェアリーS(GⅢ)の勝ち馬フィリアプーラ(牝5歳/美浦・菊沢隆徳厩舎/JRA通算16戦2勝)、2021年テレビ西日本賞北九州記念(GⅢ)の勝ち馬ヨカヨカ(牝3歳/栗東・谷潔厩舎/JRA通算10戦4勝)は、10月22日(金)までに競走馬登録を抹消されました。フィリアプーラは北海道安平町のノーザンファーム、ヨカヨカは北海道新ひだか町のサンデーヒルズで繁殖馬となる予定です。

### ●ロンジン プティック銀座でジャパンカップ写真展を開催

11月28日(日)に東京競馬場で行われるジャパンカップ(GⅠ)は、昨年に引き続きロンジン社とパートナーシップを結んで実施することとなりました。これによりジャパンカップの正式名称は「ジャパン・オータムインターナショナル ロンジン賞 第41回ジャパンカップ(GⅠ)」となります。また11月17日(水)から23日(祝・火)まで、東京都中央区銀座のロンジン プティック銀座において「ロンジン ジャパンカップ写真展」が開催されます。開場時間は11時~20時30分、最終入場20時、入場無料で、ジャパンカップの歴代優勝馬の写真、スイスのロンジンミュージアムより取り寄せた秘蔵タイムピースが展示されるほか、ロンジン社による乗馬スポーツへの取り組みおよびスポーツ計時の歴史を紹介する内容となっています。

### ●香港国際競走に日本馬が登録

12月12日(日)、香港・シャティン競馬場で行われる香港国際競走に、日本馬40頭が登録しました。香港カップ(GⅠ)にはラヴズオンリーユー、レイノパレなど、香港マイル(GⅠ)にはインディチャンプ、グランアレグリア、グレナディアガーズ、サリオス、シュネルマイスター、ダノンキングリー、ダノンザキッド、ラウダシオンなど、香港スプリント(GⅠ)にはダノンスマッシュ、ピクシーナイト、モズスーパーフレア、レシステンシアなど、香港ヴァーズ(GⅠ)にはグローリーヴェイズ、タイトルホルダー、ユーパーレーベンなどが登録しています。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●鎌倉記念(川崎)は北海道のシルトブレ【各地の主要2歳重賞】

鎌倉記念(10月13日、川崎、1500<sup>米</sup>)は、3番手から直線に入って間もなく抜け出した4番人気の北海道からの遠征馬シルトブレ(牡、父ワールドエース)が、3戦全勝で単勝1.5倍の断然人気となったマママカロニ(大井)を1馬身差で退けました。若駒賞(10月4日、盛岡、1600<sup>米</sup>)は、先手を取ったカクテルライト(牝、父カレンブラックヒル)が単勝1.1倍の支持に応じてビギナーズCに続く重賞2連勝。兼六園ジュニアC(10月5日、金沢、1500<sup>米</sup>)は、単勝1.2倍で圧倒的人気の北海道所属馬エンリル(牡、父アジアエクスプレス)が、2着馬に3馬身差を付けて楽に逃げ切り勝ち。兵庫若駒賞(10月14日、園田、1400<sup>米</sup>)は、2番手から4コーナー手前で先頭に立った1番人気のガリバーストーム(牡、父アジアエクスプレス)が後続の追撃をクビ差凌ぎ、デビュー以来の連勝を3に伸ばしました。知床賞(10月17日、盛岡、1400<sup>米</sup>)は、逃げた北海道の1番人気馬マックスレジェンド(牡、父ダノンレジェンド)が、ゴール前の攻防をハナ差で制して重賞初制覇を果たしています。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●ブリーダーズC~日本調教馬が2勝をあげる快挙

11月5日、6日に米国カリフォルニア州のデルマー競馬場で行われたブリーダーズCで日本調教馬が2勝の大活躍を見せました。まず、日本調教馬として史上初めてブリーダーズCにおける勝利を収めたのがラヴズオンリーユー(牝5歳、父ディーブインパクト、栗東・矢作芳人厩舎)。11月6日に行われたGⅠブリーダーズCフィリー&メアターフ(3歳上牝、芝2200<sup>米</sup>)で川田将雅騎手を背に中団待機から直線で鋭く伸びて、GⅢワヤS連覇を含む重賞3勝のマイシスターナットに半馬身差をつけて優勝しました。そしてこの3レース後に行われたGⅠブリーダーズCディスタフ(3歳上牝、ダート1800<sup>米</sup>)を制したのが同じ矢作厩舎のマルシュロレーヌ(牝5歳、父オルフェヴル)。O.マーフィー騎手が手綱を取った同馬は後方追走から徐々にポジションを押し上げて4コーナー手前で先頭に立つと、GⅠアラバマSの勝ち馬ダンパーロードの追い上げをハナ差で凌いで優勝。この勝利は日本調教馬として初の米国ダートGⅠ制覇という偉業でもありました。なお、ブリーダーズCのメインレースであるGⅠブリーダーズCクラシック(3歳上、ダート2000<sup>米</sup>)は昨年のGⅠブリーダーズCダートマイルの勝ち馬ニックスゴー(牡5歳、父ペインター、B.コックス厩舎)が2馬身 $\frac{3}{4}$ 差の逃げ切り勝ち。これで重賞4連勝としました。